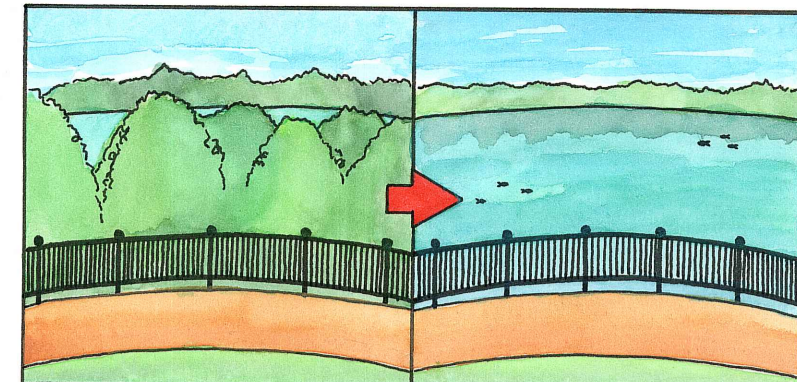
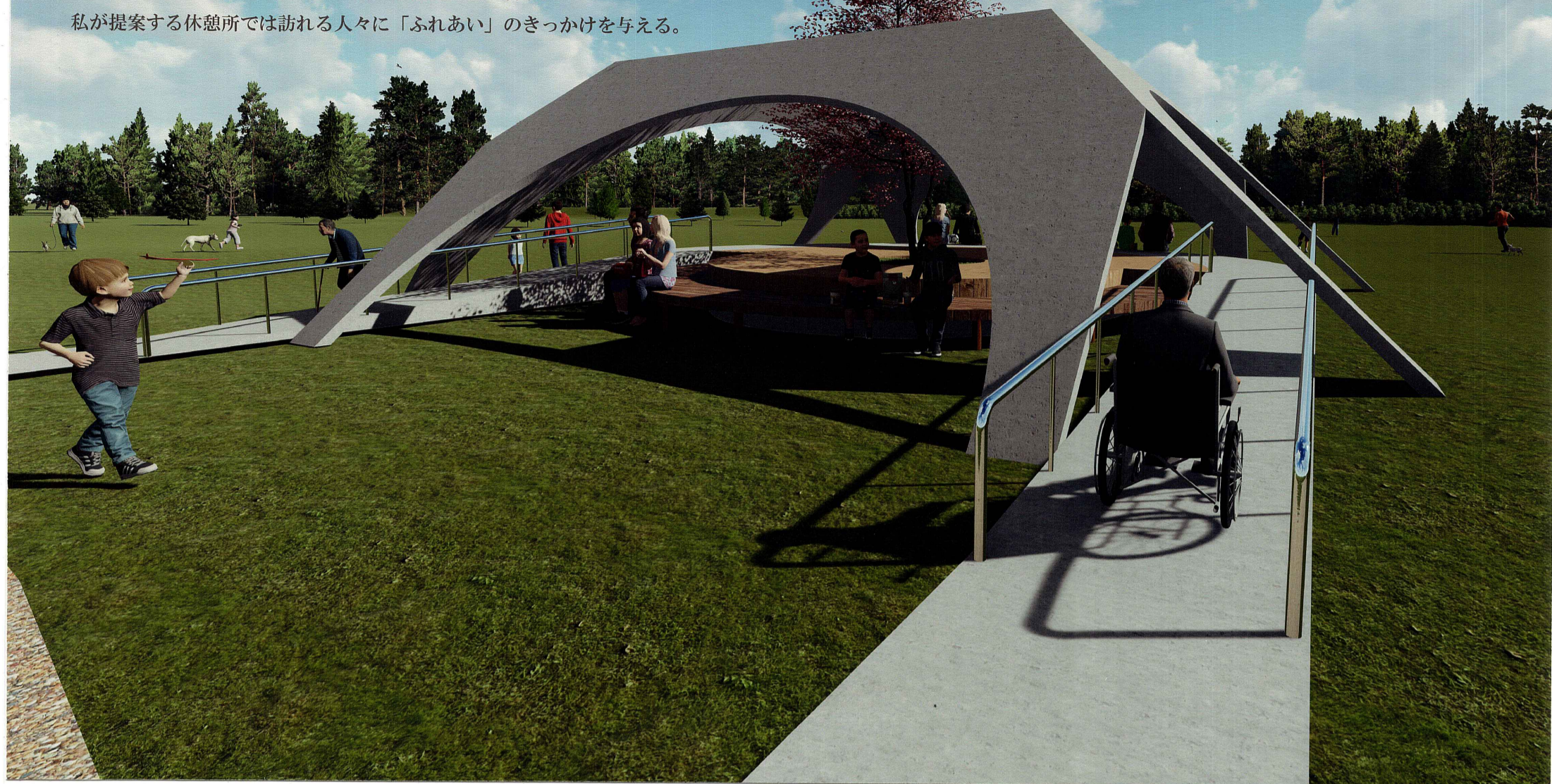


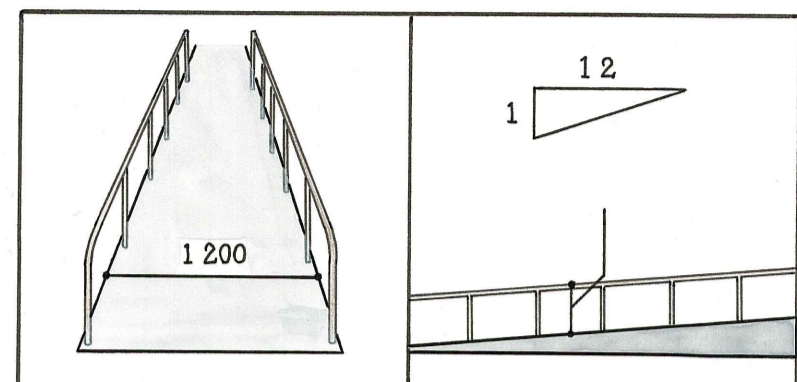
# 仲人

～人を繋ぐ仲介建築～

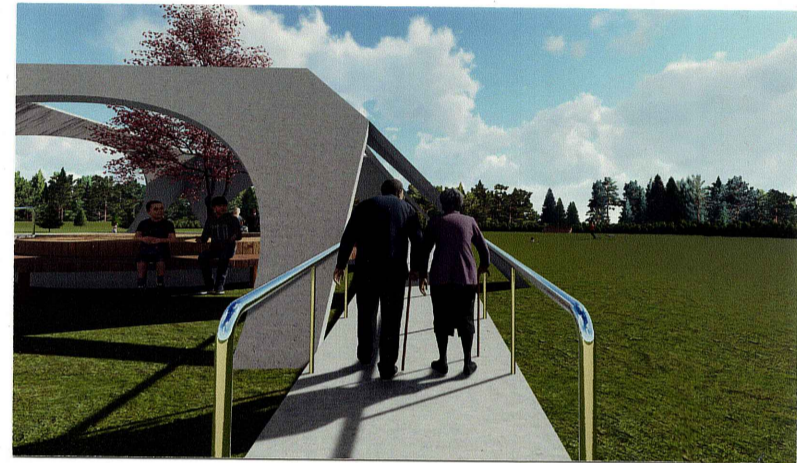
倒れかかる4面の壁の隙間に、様々な人たちが集まってくる。  
そこでは、様々な活動が行われ、人々が複雑に絡み合う。  
私が提案する休憩所では訪れる人々に「ふれあい」のきっかけを与える。



提案 蜻蛉池への眺望を遮っている前景樹木を一部伐採することで、景色をより豊かにする。



配慮 スロープの幅や勾配にゆとりを持たせることで、訪れる人々にとって快適な空間となる。



蜻蛉池

敷地境界線

電源 コンセントを2箇所に設けることで、イベント時などで使用できる。

建築面積

- 1.2×7.2×2 = 17.28
- 4×4×3.14 = 50.27
- (84.95-50.27) = 34.68

建築概要

建築面積：84.95㎡

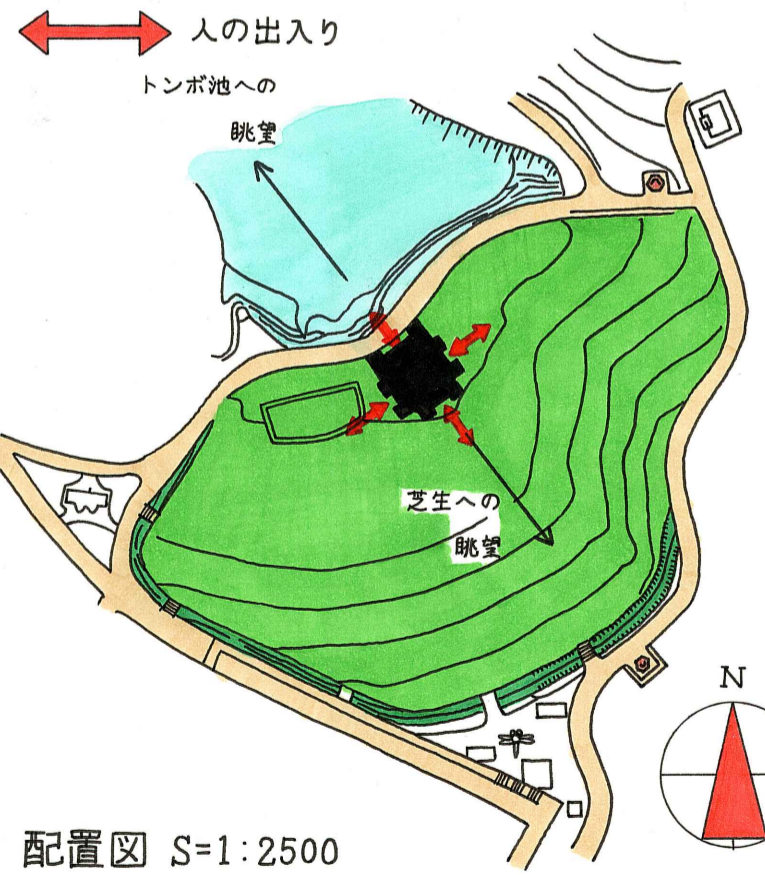
構造：鉄筋コンクリート造 打ちっ放し

壁厚：180mm

平面図 S=1:200

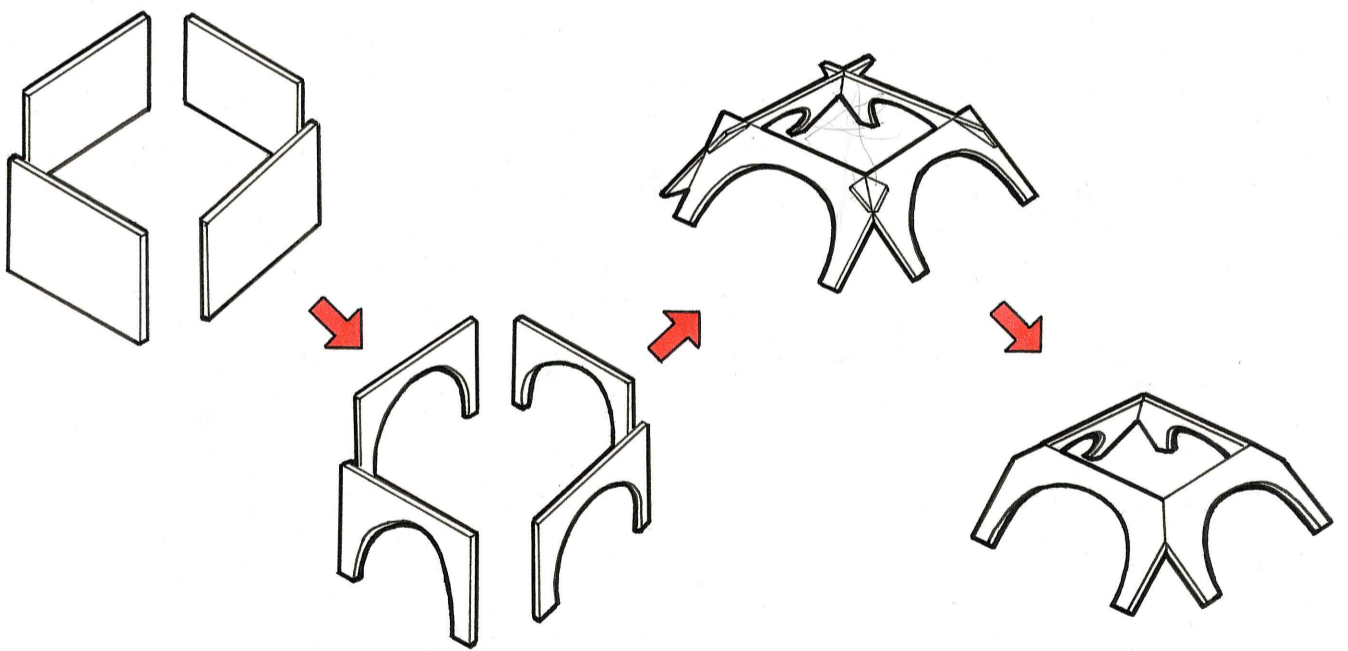
※ ● : コンセント

## 00 人が相互に乗り入れする休憩所

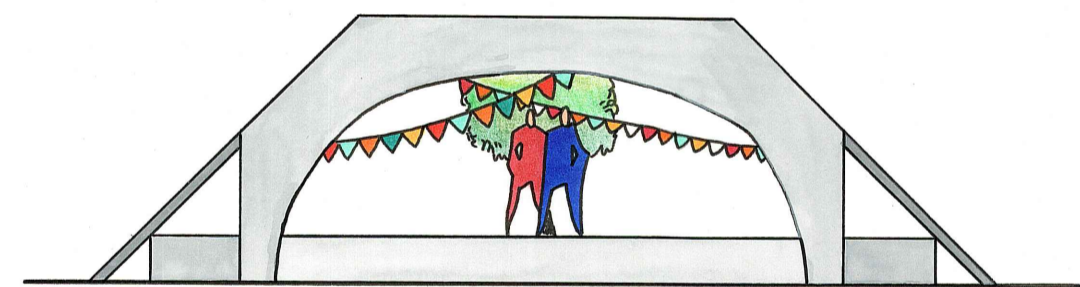
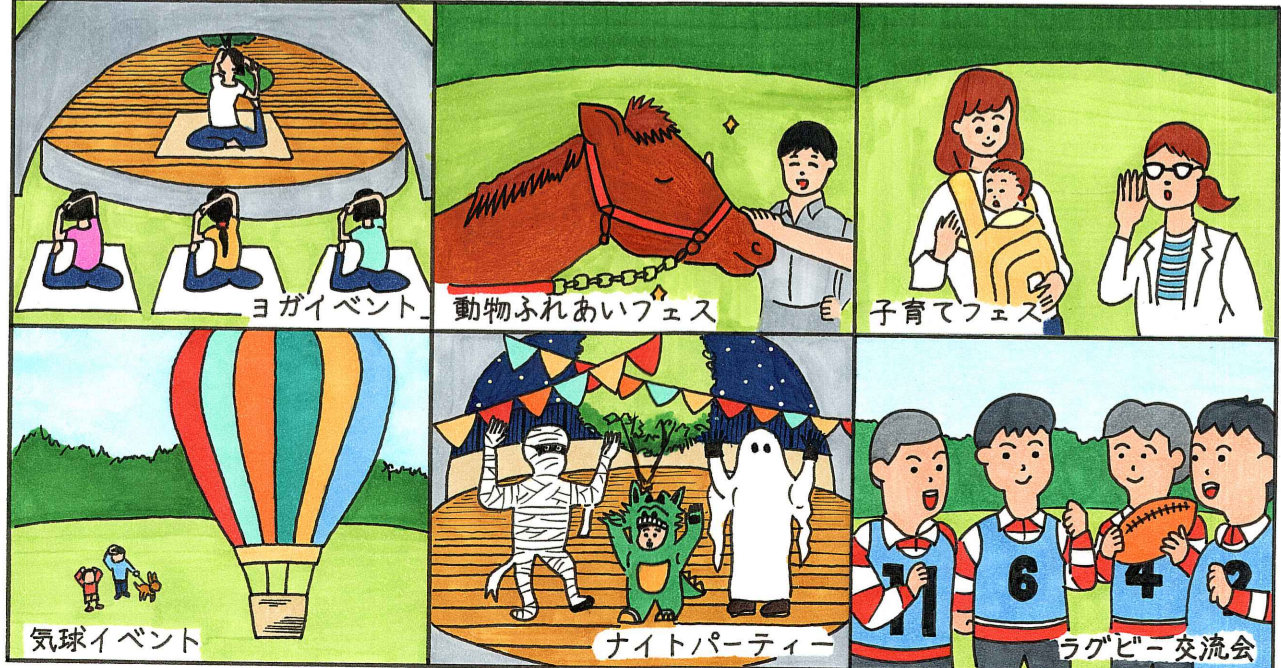


休憩所を敷地の中央上部に配置することで、広場全体を見渡すことができ、アクセスのし易い配置計画とした。また、シンボルツリーを建物中央に配置し、開放的な「開けた」空間とすることで、建物の4面全てを休憩所の「顔」とした。こうすることで、どの面も外部に接する、明るく眺めの良い空間となるだけでなく、使う人が主役となり、様々な活動が行える休憩所となる。

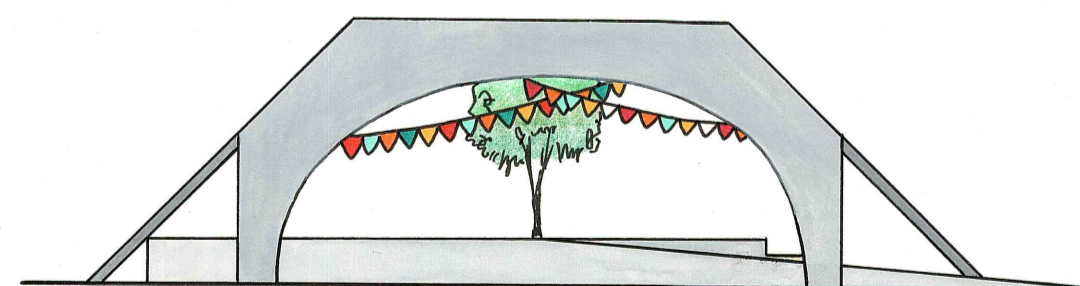
## 01 シンプルで、開放的なデザイン



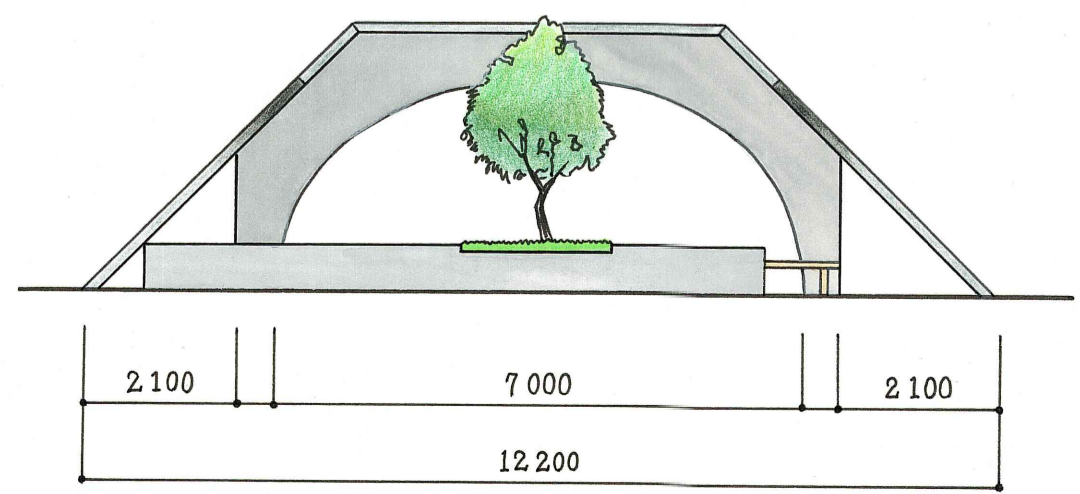
## 02 大芝生広場の様々な活用方法



南東立面図 S=1:100



北東立面図 S=1:100



A-A 断面図 S=1:100

